

令和7年度北海道芦別高等学校学校評価報告書

令和8年（2026年）3月12日

北海道教育委員会教育長 様

北海道芦別高等学校長

1 本年度の目標

- (1)主体的、対話的で深い学びを通して、知識・技能及び社会で生きる力を育む
- (2)自己理解を深め、社会の有為な担い手となる進路実現に向けて、積極的に取り組む態度を育む
- (3)多様性を尊重し、他者と協働することにより道徳心や自律心、創造性を養うとともに、自己指導能力を育む
- (4)心身の健康の保持増進に努めるとともに、自他の健康安全に貢献できる態度を育む
- (5)地域の伝統や文化に触れ、地域の人達と触れ合うなかで、地域を理解・尊重する態度を育む

2. 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校との連携を図った。 ・ICTは概ね活用できているが効果的な活用方法を継続的に研修していく必要がある。 ・評価に繋がる適切な振り返りを継続していく。 ・授業公開を継続的に行っていく。市民に高校を知ってもらう機会を今後も確保する。 	<p>○ICTの活用に関して、小中学校での授業に比べると活用が少ない。義務教育段階で学んだICT活用について、高校段階ではさらに深い活用を目指して取組を進めていただきたい。</p>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用については各自研修を行うことに加え、教務部ICT担当による校内研修を継続する。 ・小、中学校との連携を密にし、入学後スムーズなICT活用となるよう準備を行う。 ・定期的に授業公開を設定し、適切に授業改善を行えるようにする。 ・多様な生徒の実態に応じた授業研修の充実を図る。 	
キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・社会が求める人物像を掴み日常の指導に生かした。 ・探究を通して自己理解や他者との協力の重要性等を学び、進路実現に向けて体験活動の一層の充実を図った。 	<p>○進路指導に関して、保護者評価が下がっていると感じられる。生徒個人へのアドバイスに当たって、生徒の意欲を高める指導や進路目標を達成する実力を育てる指導という点からの取組を進めていただきたい。</p>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現に向けて、保護者を含めた面談を丁寧に行っていく。 ・学校運営協議会やロータリークラブ等、地域の教育力を積極的に活用するとともに、企業ニーズや卒業後の就業状況の把握に努める。 ・日常の教育活動の在り方を、進路実現に向けて生徒が探究的に取り組めるよう工夫する。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめやトラブルに対する組織的な対応を継続していく。 	<p>○今後も生徒に寄り添った指導をお願いしたい。地域が、地域で子ども達</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・学年、分掌、委員会の情報共有、コミュニケーションを密に行っていく。 ・規範意識を育む支援を継続していく。 ・命の大切さ、他者を思いやる心の大切さ、多様性の尊重等を取り上げていく。 	<p>を育てるという意識を持つ事が必要と感じる。芦別市合同地域参観日等、市民が子どもたちとふれあう機会を今後も検討してもらいたい。</p>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・「校則の見直し」を生徒主体で継続して行う。 ・命の大切さや多様性を尊重する取組を行い、いじめやトラブルを見逃さない組織的対応を実践していく。 ・自主的な地域活動への参加につながる学校行事を設定していく。 ・目的や評価規準が理解できる適切な振り返りを行っていく。 	
健康・安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ・SCによるカウンセリング利用は少ないが、集団作りや自己の感情理解等、効果的な活用を検討していく。 ・美化意識を定着させる。丁寧な清掃活動を行っていく。 ・外部講師を効果的に活用していく。 	<p>○生徒指導同様、苦労があると思うが、環境整備・美化の意識は、社会に出て当然身に付いているべき能力なので、引き続き寄り添った指導をお願いしたい。</p>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた回数・時間の中での効果的なSCの活用法を探っていく。 ・清掃方法を定着させ、校内はもちろん校外でも環境保全を意識した行動が取れるよう環境美化意識を育成する。 	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・各担当者を中心に組織的に教育活動を行うことができた。部内での人材育成を含め今後も継続していく。 ・生徒情報、共有すべき情報周知を徹底して行っていく。問題を抱え込まず弱みの共有ができる集団を継続する。 ・各教育活動において、評価規準を効果的に活用していく。 	<p>○令和8年度から「地域連携校」が導入されることから、その特徴を生かした教育活動が展開されることを強く期待している。また、探究の時間での地域企業や地域人材との連携により、生徒が地域を知り、体験したり、気づいたことを提案したりする活動を通じて自らの可能性を広げ、生き生きと活動できるよう教職員の皆様のご尽力に期待をしております。</p>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や方針を明確化し、業務の見直しや効率化を図る。 ・学校運営協議会等、外部の声を取り入れ、魅力ある学校づくりを推進する。 ・学校課題を教職員が自分事と捉え、改善に向け協働して取り組む事で組織力の効用を図る。 	
信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き定期的に授業公開を行った。YouTube配信により来校できない保護者の参加を得られた。 ・出前授業、招待授業を行うことができた。小中高の連携を意識した教育活動を今後も継続していく。 ・教育活動をタイムリーに伝えられるよう速やかに作業を行う。 	<p>○情報発信に関して、芦高だよりやHP更新などに取り組まれていることは承知しているが、保護者評価は下がっている。そのことが、保護者や地域の願い、子ども・保護者の話や相談への対応についての評価を下げることに繋がっているとも感じられる。高校の活動や生徒の活躍などが報道されるよう新聞社への取材依頼の強化などに一層力を入れてはどう</p>

		かと考える。新聞などで報道されることにより、保護者や地域の方に芦別高校の活動を認識してもらうことにつながり、生徒の活躍する姿が芦別高校をPRし、入学生確保にもつながっていくものと考えている。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞社、TV局への取材依頼を積極的に行っていく。 ・学校運営協議会や市内小・中学校との連携を深め、学校課題を克服することで、芦別高校の取組や魅力の向上に生かしていく。 ・「全ての教職員が情報発信者である」の認識を強く持ち、時差のないタイムリーな情報発信を行っていく。 	
教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・服務規律は概ね遵守できている。引き続き信用の向上に努めていく。 ・業務の偏りが存在する。業務を平準化できる見直しを日常的に行っていく。 	○学校の信用を失うことがないように業務を遂行していただきたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の見直しによる効率化・縮小化を遂行し時間外勤務の縮減に努める。 ・服務規律については、常に遵守した行動が取れるよう定期的に研修の機会を設けていく。 ・目的や方針を明確化し常に業務の見直しを行い、教育への情熱ややりがいを見失わずに、時間外勤務の縮減に繋がるよう努めていく。 	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会などで保護者に公表 ・学校HPでの公表 ・学校運営協議会で公表 	

3. 添付資料

- (1) 令和7年度 職員学校評価（学年末）集計【自己評価書】
- (2) 令和7年度 学校運営協議会委員評価集計【学校関係者評価書】
- (3) 令和7年度 学校評価アンケート（保護者）集計【保護者による学校評価書】